

事務事業名 筑紫野市青年団体連絡協議会補助事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：607

施策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-07-00
基本事業：	03	青少年指導者の確保、育成	担当部	教育部
基本事業の成果指標	ボランティアの活用件数（派遣件数のうち少年に関わるものの件数） ボランティア活動者数（延べ活動者数のうち青少年に関わるものの人数） 子どもたちが主体的に企画・運営した事業を実施した子ども会の割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和61年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市青年団体連絡協議会			代表委員会：年6回程度開催し、情報交換を実施。 構成団体：吹奏楽団・商工会青年部・つくし青年会議所・体育協会・筑紫野市職労コース部の5団体。 活動内容：社会貢献活動として、生涯学習フェスティバルでの青少年を対象とした陶芸教室、成人式の警備を実施。新規の社会貢献活動を検討及び協議の継続中。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
青少年の健全育成のための社会貢献活動を実施する団体とする。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
社会貢献活動数		回	2	2	2	2			3
5. コスト									
事業費		計	千円	30	30	30	30		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般		千円	30	30	30	30			
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	800	809	807				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	830	839	837	30			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		例年社会貢献活動としては、2回のみとなっている状況です。 各団体ともに事業を多く持っており、青連協として新たな事業を起こすことが難しいのではないかとと思われるので、成人式のように当日実行できる社会貢献活動がないか今後提案していきます。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし		構成団体の個々で社会貢献活動されている部分もあるが、青年団体連絡協議会としての活動を企画、検討され実施することが課題である。代表として出ている方の負担にならないようにしながらも、新たにできる社会貢献活動はないかを検討していきます。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
昭和61年に市からの働き掛けにより、団体が発足。発足から10数年間は、活発に青少年育成活動として、「少年の船」やJR二日市駅前チャリティ「餅つき大会」の活動などが実施されていた。世代交代や時代が進み、ここ数年は、生涯学習フェスティバルの陶芸活動、成人式の警備の活動へと変化してきています。					備考・特記事項 or 進行管理欄				